



み や ぎ

— 43号 —

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 清野 仁
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホム{ヲ http://www.mnh.go.jp/

年 頭 に あ た っ て



院長 清野 仁

新年明けましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

年も改まり、未曾有の東日本大震災の発生から、早や4年の月日が経過しようとしています。遅々として進んでいない印象のあった復旧・復興事業も、ようやく進展が実感できる多くの場面を見ることができるようになりました。昨年12月には、山元ICで途切れていた常磐自動車道が、福島県の浪江まで延伸し、この3月には全線が開通して、太平洋側で首都圏まで直結することになります。また、大津波により、駅舎やレールが流失したJR常磐線も、新ルートに沿って大きなビルディングを思わせる橋脚がいつの間にか田んぼの中に出現し、日ごとに延びている様子は、町の将来像を描けるまでに着実に進んでいることを確信させてくれています。さらに、町の基幹産業であるイチゴ生産も震災前の7、8割まで回復しており、災害公営住宅および福祉施設用地として譲渡する予定の宮城病院の敷地も、医療廃棄物の処理が全面的に終了し、町との契約にこぎつけることができました。

宮城病院のある山元町は、津波により多くの住民が犠牲となり、さらに震災後は、地域外への転居などによる加速度的な人口減少にも直面することになりました。このことは、患者数および医業収益の減少など、病院経営にも大きな影響がありました。しかし、平成25年を底として昨年の後半からは、入院患者数が徐々に増加し、医業収益にも反映して、当初計画に近づくまでになり、V字回復の兆しが見え始めてきたように感じております。今後とも、インフラ整備に伴って、復旧・復興が一段と加速し、町の復興計画案に基づいた新たな町づくりにより、以前にも増して、利便性のある、安心して居住できる町が実現することを大いに期待したいと思っております。そして、この地域で唯一の病院である当院が安定した運営のもとに、町の医療・福祉を担うことは、多くの住民にとっての安心材料となり、町の復興にも大いに寄与するものと考えております。

(次ページへ)

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

(前ページより)

当院は昨年3月に、初めて病院機能評価を受審し、6月下旬に合格認定証を受領することができました。多くの項目において高い評価を得ることができましたが、これは、職員が一丸となって長期間に渡り準備し、蓄えてきた力を存分に発揮した成果でした。国立病院機構は、この4月に新法人に移行しますが、新たに公経済負担や労働保険料負担などが加わることになり、多くの病院がその対応に苦慮していることと思われます。当院としましては、これまで提供してきた重症心身障害（児）者医療、神経難病医療、地域医療の3本柱を継続、発展させることとなりますが、特に地域医療においては、地域包括ケア病棟を新たに運用するとともに入院患者数の確実な増加を目指してこれらに対応したいと考えております。そして、最近の経営状況では断念せざるを得なかった外来管理棟の建て替え事業への道筋を是非つけたいものと思っております。

当院が、住民の生活に密着し、町の復興・地域の発展に大きく寄与するためにも、引き続き、住民に安全で心を込めた良い医療を提供していきたいと考えております。

本年も宜しくお願いたします。

「宮城病院公開講座を開催いたしました」



平成26年12月6日（土）、亘理町の悠里館にて公開講座を開催いたしました。この日は「常磐自動車道の開通式典」もあり、私どもを含め地域の皆様方には心に残る1日だったかと思います。

当院の公開講座も3回目を迎えることができました。これまでご参加いただきました地域の皆様方、ご協力いただきました方々に、この紙面をお借りし改めて感謝を申し上げます。

今回は「特定健診 血液検査の見方」と題しまして当院の清野 仁院長よりお話しをさせていただきました。当日は49名のご参加をいただき、ありがとうございました。

ご参加いただきました方から寄せられました感想の一部をご紹介します。「健康について幅広く勉強したいと思っていた所です。大変勉強になりました。健康寿命を伸ばす努力を今後も続けたいと思います」、「健診結果の見方と基準値について良く分かりました。メタボリック・肥満は種々の病気と関係していること、家庭内血圧を測る必要性を知ることができました」。また「今後とも亘理郡内の健康教育、啓蒙をお願いしたい」というお言葉をいただきました。

当院として、これからも地域医療の一助となるような公開講座を企画していきたいと考えております。次の機会もぜひご参加いただきますよう、お願いたします。

(地域医療連携係長 大森 眞由美)



消 防 訓 練 を 実 施 し て

12月10日（水）、今年度1回目の消防訓練を実施しました。中央病棟4階食堂を出火元と想定し、火元発見者（病棟看護師）による消火器を使用した初期消火訓練から始まり、消火班による病棟内散水栓を使用した模擬消火、病棟スタッフ及び救護班による模擬（独歩・護送・担送）患者の避難誘導訓練を行い、担送患者については、レスキューシートを使用した搬送を実施しました。また、出火元病棟以外の病棟スタッフについても救護班（病棟応援）として避難誘導に加わりました。訓練終了後は、主に今年度採用者・転入者をメインに水消火器を使用した消火訓練、屋内散水栓を実際に使用した放水訓練を実施し、消防訓練を身近に感じてくれたことかと思います。亙理消防署山元分署からも概ね良好との講評をいただきました。「災害があった場合は、患者さんの避難を優先することが必要ですが、自分の身の安全を確保することも同様に大事ですので、周りの状況を良く見て行動をしてください。」との助言もいただきました。言うのは簡単ですが、実行するのは簡単なものではなく、実際直面した際の我々病院スタッフの責任は非常に大きなものであると感じました。私たちにできることは、地味かもしれませんが、常日頃より火災等の防災に備え意識することだと思えます。



最後に日常意識していただきたいことを次のとおり記載しましたので、皆

さんも一緒に防火に対する意識（イメージ）を身につけましょう。

①避難経路を確認しておきましょう。

実際に火災が起きると視界不良となり普段の景色は様変わりします。非常口、非常階段の位置を意識して覚えておきましょう。

②消防設備を知っておきましょう。

普段から病棟廊下などにある消火器・屋内散水栓の場所を覚えておきましょう。火災の初期段階では、

消火器・屋内散水栓による消火が非常に有効であり、初期消火の成功により被害拡大を防ぐことができます。但し、初期消火に失敗した場合は、迅速に避難することも大切です。

③防火区画（防火扉）を意識しましょう。

防火区画とは火災が急激に広がることを防止するための空間であり、通常防火扉で仕切ることにより形成します。防火扉は防煙の機能も果たす重要なものであることから、常日頃より防火扉の場所を把握しておきましょう。



（庶務班長 鈴木 喜智）

紹介医療機関 （12月末日現在） ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック（71件）
- ・東北大学病院（46件）
- ・やべ内科クリニック（44件）
- ・南東北病院（36件）
- ・平田外科医院（35件）
- ・公立相馬総合病院（35件）
- ・みやぎ県南中核病院（28件）
- ・三浦クリニック（27件）
- ・渡辺病院（26件）
- ・金上病院（24件）

上位10医療機関のほか、県内外175医療機関からご紹介いただいております。

診療案内

平成27年1月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
				齊藤 秀行		
			神部 陽子	神部 陽子		仙台医療センター
神経内科	新患	伊藤 博明	松本 有史	久永 欣哉	東北大学病院	東北大学病院
	再来	久永 欣哉	久永 欣哉		久永 欣哉	久永 欣哉
		今井 尚志	伊藤 博明	松本 有史	伊藤 博明	
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科(午後)				県立がんセンター (13:30~15:30)	県立がんセンター (検査日)	
循環器科	午前		東北大学病院 (再来)			
	午後	東北大学病院 (新患)				
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)		療育相談 (大島 武子)	
整形外科(午後)			県立がんセンター (13:30~15:30) 第1・3・5週			県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科(午後)						澤村 武 志藤 祥子 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
		(仁村 太郎)				永松 謙一
皮膚科					東北大(第3木)	
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	神経内科外来にて随時受付				
	もの忘れ外来	神経内科外来にて随時受付				
	頭痛外来	神経内科外来にて随時受付				
	ALS外来	今井 尚志				
	糖尿病外来				東北大学病院	
	禁煙外来(午後)					山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来(午後)					
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	腎臓病外来(午後)					東北大学 (第1・3週)
入れ歯外来				伊藤 秀美	伊藤 秀美	

受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
ただし、救急の方は随時受け付けいたします。
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,700円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から■

JR常磐線亶理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

